

こんしゅう よん じゅう  
今週のことば「**四十一**」

せいしよ ふくいんしよ  
《聖書》マルコによる福音書1:12-15

よん じゅう  
**四十一**

せいしよ かず つか ば あい せいかく すうち  
聖書で数が使われる場合、正確な数値  
あらわ がいさんてき いみ つか  
を表すことよりも、概算的な意味で使っ  
しょうちようてき い み つか  
たり、象徴的な意味で使ったりしていま  
す。

よんじゅう かず ふる せ だい  
四十という数はもともと、古い世代が  
ほろ あたら せ だい そだ き かん つか  
滅び新しい世代が育つ期間として使われ  
あ の  
ていました。イスラエルの荒れ野におけ  
よんじゅうねんかん たいざい みるすうき ほか  
る四十年間の滞在（民数記32:13他）、  
き げ  
ダビデ（サムエル記下5:4）、ソロモン  
れつおうき じょう とうち き かん  
（列王記上11:42）の統治期間などがこ  
れにあてはまります。

こうずい とき あめ そうせいき  
さらに、洪水の時の雨（創世記7:4）  
ぞん たいざい しゅつ  
や、モーセのシナイ山での滞在（出エジ  
き よんじゅうにちよんじゅうや  
プト記24:18）では、四十日四十夜とい  
ひょうげん つか なが き かん  
う表現を使って、長い期間であったこと  
あらわ  
を表しています。

じゅん び き かん  
**準備期間**

かつどう はじ まえ  
イエスがガリラヤで活動を始める前に、

あ の よんじゅうにちかん こと きょう せい  
荒れ野で四十日間すごした事が今日の聖  
しよ の また し と げんこうろく  
書で述べられています。又、使徒言行録  
ふっかつ あとよんじゅうにちかん  
3:3では、イエスが復活した後四十日間  
し と つた  
使徒たちとすごしたと伝えています。

よんじゅうにち かず  
この四十日という数は、イスラエルが  
だっしゅつ にゅうこく  
エジプトを脱出してから入国するまでの  
き かん よんじゅうねん こと しょうちようてき しめ  
期間が四十年であった事を象徴的に示す  
つか あら こと はじ  
ために使われています。新たな事を始め  
まえ き かん す ところ じゅんび  
る前にこの期間を過ごし、心の準備をす  
こと もと  
る事を求めているのです。

きょうかい てんれいれき ふっかつさいまえ じゅんび  
教会の典礼暦でも、復活祭前の準備の  
き かん しじゅんせつ もう  
期間として四旬節が設けられています。

ふっかつさい せんれい う し がん  
ももとは、復活祭に洗礼を受ける志願  
しや じゅんび き かん つく  
者の準備の期間として作られたようです  
せんれい しがんしや しんじや ふっかつ  
が、洗礼志願者だけでなく、信者が復活  
さい つか じゅんび き  
祭をふさわしく迎えるために準備する期  
かん つか  
間としても使われるようになりました。

わたし しじゅんせつ き かん とお  
私たちも、この四旬節の期間を通して、  
じ ふん せいかつ  
自分たちの生活をふりかえり、イエスの  
しめ ふくいん い  
示された福音にふさわしく生きているか  
と なお  
を問い直すようにしましょう。

しじゅんせつだい しゅじつ ねん たきの  
四旬節第1主日B年（滝野）